



# 日语毕业论文

日本語で卒論を考える技術と書く技術

## 构思与写作技巧

曹春玲 汤伊心 著  
割泽泰 审定



海南师范大学学术专著出版资助项目  
日本九州外国语学院出版赞助

日

语毕业论文

日本語で卒論を考える技術と書く技術

构思与写作技巧

曹春玲 汤伊心 著  
割泽泰 审定

北

华中科技大学出版社

<http://www.hustp.com>

中国·武汉

图书在版编目(CIP)数据

日语毕业论文构思与写作技巧/曹春玲,汤伊心著. —武汉:华中科技大学出版社,2016.6  
ISBN 978-7-5680-1689-6

I. ①日… II. ①曹… ②汤… III. ①日语-毕业论文-写作-高等学校-教学参考资料  
IV. ①G642.477 ②H365

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2016)第 073757 号

日语毕业论文构思与写作技巧

曹春玲 汤伊心 著

Riyu Biye Lunwen Gousi yu Xiezuo Jiqiao

策划编辑:刘平

责任编辑:刘平 神田英敬

封面设计:原色设计

责任校对:李琴

责任监印:周治超

出版发行:华中科技大学出版社(中国·武汉) 电话:(027)81321913

武汉市东湖新技术开发区华工科技园 邮编:430223

录排:华中科技大学惠友文印中心

印刷:武汉鑫昶文化有限公司

开本:787mm×1092mm 1/16

印张:17 插页:1

字数:369千字

版次:2016年6月第1版第1次印刷

定价:48.00元



本书若有印装质量问题,请向出版社营销中心调换  
全国免费服务热线:400-6679-118 竭诚为您服务  
版权所有 侵权必究

## 本书的主要特点

第一，介绍学术论文特点。

论文是对学术研究内容的总结，是和其他研究工作者进行学术交流的手段。论文不同于一般文章，有其自身的特点。

第二，内容丰富，专业知识面广。

本书包括论文选题范围、论文题目方向、研究方法、材料收集及评估、提纲的构思、正文的写作技巧、句型的运用与连贯、文献的引用以及脚注等写作技巧与方法。

第三，重点突出，灵活性强。

考虑到论文作者的不同层次，本书在内容安排上尽量做到灵活多样，实用性强。便于教师与学生根据实际需要进行增补、删减与调整专业知识内容。本科生学习的重点可放在第5、6、7、8、9章，研究生可以有选择地阅读。

第四，切合实际，针对性强。

本书主要针对日语专业本科高年级学生和研究生。本书对如何写论文给予了很详细的介绍，并罗列出日语论文中常用的句型，文字言简意赅，易于理解。本书提供的范例都具有很强的代表性，且通俗易懂，能帮助读者更好地完成一篇完整的日语论文。

第五，教学与自学的良师益友。

本书教你如何完成一篇完整的日语论文，包含大量日语论文范文的原文句型、绪论、正文、结论等，每章都有思考与讨论题，并配有PPT与参考答案，便于教师进行教学与参考，也便于读者自学。

## 前 言

《日本語で卒論を考える技術と書く技術》(《日语毕业论文构思与写作技巧》)一书是作者9年来的教学经验总结,主要针对用日语写毕业论文的广大读者与指导教师。本书是读者的福音和良师益友,尤其对于没有写过日语毕业论文的本科生和研究生读者来说,是本非常容易理解的书,解决了日语论文写作零起点的读者在写日语毕业论文时所遇到的迷茫、困惑和难题。本书作者多年来从事日语论文指导与教学工作,根据学生的现状,摸索并总结出具有实用性的思维理念、写作方法与教学方法,这也是在多届毕业生的论文指导和学生论文修改过程中的经验。

本书作者结合日语本科生的具体情况,总结了整体性和体系性的专业基础知识和PPT教学模式,为了让更多人受益著写成书。本书通过2所本科高校7届日语本科专业师生的试用,效果良好,同时也得到了校外同行与专家的肯定和好评。专家评价本书知识结构科学合理,内容得当,目前来说是一部很有实际意义的教科书。学生评价本书内容充实,练习灵活多样,实用性强,切合日语毕业生论文写作需要。本书从论文写作前的材料收集、主题确定到论文整体的写作再到答辩环节都有详细的论述;提供的范例都具有很强的代表性,文字简练,通俗易懂,能帮助读者很好地完成一篇完整的日语论文。特别是作者通过多年的论文指导形成的一整套教学与写作思路,对日语专业毕业生顺利完成毕业论文写作及毕业答辩有针对性极强的帮助。

本书由12章和附录构成。第1章论述论文的相关知识;第2、3章论述论文的写作技巧和论文写作的基础知识;第4章论述论文的构成及其特点;第5章论述收集和查找资料的技巧和方法;第6、7、8、9章论述了从论文的绪论、正论到结论,论文摘要、谢词的构思技巧与写作技巧,同时介绍了各章节写作时常用的句型与使用技巧;第10章论述了日语论文写作常用的疑问文体、接续文体,还列举了论文写作时常用的文末表达方式和如何避免错误句型等;第11章论述了毕业论文口头发表的实用文体和口头发表技巧,比如,如何制作PPT发表材料等;第12章介绍日本本科大学生的毕业论文;附录主要是日语专业学生毕业论文与各章后的问题解答。

本书作者还记得最初用日语写论文的情景。废寝忘食,熬了几个通宵写好的论文拿给导师看,结果被批了一顿。恩师说:“论文不是写小说,不可信手拈来;论文不是感想,要有据有根,有分析有反驳。”恩师常常对我说:“研究成果の良し悪しはかいた汗の量に比例する”,就是说“研究成果的优劣和你所流的汗水是成正比的”。之后我开始大量阅读期刊学术论文,并模仿写作和总结,同时积极参加学术论文发表和学

术投稿。感谢恩师的教导!

《日语毕业论文构思与写作技巧》一书在构思与写作过程中,作者参阅了大量中日相关的著作与资料,深受启发。同时作者还参考、借鉴并引用了国内外诸多相关著作和学者的研究成果,也参考了相关官方网站的研究成果,同时听取并采纳了使用本书的大学生提出的合理化建议。日本外教大川原忠义先生细心校对了部分书稿,本书的合作者汤伊心博士和割泽泰博士尽心尽力,华中科技大学出版社的刘平编辑为本书出版付出了辛勤努力,日本九州外国语学院和海南师范大学给予了大力支持,作者在此一同深表谢意!

作者还有意为同仁提供第1章至第11章的PPT和《日本における「非婚」という選択とは》、《戦後日系アメリカ人にとっての日本》、《日本と中国の酒に関することわざの対照考察》、《日中異文化コミュニケーションをめぐっての考察》、《日本語におけることばと性差》、《1960年代における経済協力によるプラント輸出促進》等多篇日本学术杂志刊登过的日语原文论文,有意者请联系QQ:1036269548或QQ:1243233913,免费索取。

本书主要由曹春玲和汤伊心合作完成,其中曹春玲撰写了第1章、第2章、第3章、第4章、第6章、第7章、第8章、第9章、第11章及附录A、附录B、附录D,约22万字;汤伊心撰写了第5章、第10章、第12章及附录C,约13万字。由于作者水平有限,书中难免有疏漏与错误,敬请广大读者批评指正。

曹春玲

2016年春于椰岛

# 大学生为何必须写毕业论文?

## 1. 撰写毕业论文的目的与意义

大学生撰写毕业论文的目的主要有四个方面:

- ① 对学生的基础和专业知识进行一次全面考核;
- ② 帮助学生提高逻辑思维能力和推理能力;
- ③ 培养学生综合运用所学知识独立地分析问题和解决问题的能力;
- ④ 在此过程中培养学生独立思考的能力和创新意识。

毕业论文写作是由学生自主寻找问题、设定题目、探究答案、解答问题的过程。

首先,学生在面临选题时,需要具备良好的专业知识,又要有深厚的基础课和公共课知识,并且在已学过的知识基础上,进一步学习掌握相关的理论知识,从众多的知识点中找到自己感兴趣的问题,思考选题意义。其次,学生需要调查研究、搜集资料,了解和掌握本题目的研究现状、论据方法及各种不同观点。在此基础上,认真考虑本篇论文所要阐述的中心、分析角度、写作框架、主要观点以及主要论据等。如何选题、选择什么样的题目是做好毕业论文的重要环节。这一阶段需要学生自主性地学习、思考,是培养创新意识的首要过程。

论文题目确立后的下一个步骤是围绕选题,搜集、阅读有关的文献,掌握第一手资料,写明论文的中心、重点、主要观点、结论等。写作过程中要继续搜集、补充资料,写作要层次分明,条理清楚,观点明确,论证有理有据,具有说服能力。这一过程可帮助学生提高逻辑思维能力和系统推理能力以及语言表达能力等。

也就是说完成一篇毕业论文,学生所需要具备的能力可归纳为六个方面:

- ① 有较宽的知识面,能系统地掌握和运用专业知识;
- ② 有一定的分析、归纳、逻辑思维能力和写作功底;
- ③ 收集、整理、利用资料的能力;
- ④ 自主学习和思考的能力;
- ⑤ 运用所学知识对某一问题进行探讨和研究的能力;
- ⑥ 独立提出问题、分析问题和解决问题的能力。

## 2. 对中国大学毕业论文写作课程改革的建议

我国高校的论文写作课程仍然是以短期、大班讲授的灌输性课堂教学模式为主。具体的论文指导日程大致是从大四的上半学期开始至下半学期实习前的一个学期,从调查相关论文、寻找问题、提出问题、了解问题、产生新问题到最后定题这一过程的作业时间相当短暂。再加上,学生长期受应试教育的影响,缺失作为研究者应具有

观察能力、思维能力和实践能力，没有充裕的思考空间，学生很难找到可靠的创新点，更不谈培养创新意识了。在此，借鉴日本毕业论文写作课程的授课模式，提出以下改革方案。

第一，在学科设置上，考虑到中国高校第 8 学期学生进入毕业实习阶段，故毕业论文写作课程应提前进行并加长授课时间。

第二，由导师开展有针对性的、10 人以内的小班授课模式，组建论文写作小组。

第三，课堂内容分为论文阅读和学生毕业论文写作与发表。

第四，课堂教学模式以讨论型为主。

首先在第 4 学期期末学生根据导师的研究方向，自主选定毕业论文指导教师。在导师的指导下开始为期两年的论文写作课程。第 5 学期的写作课程主要是以学生轮流阅读专业论文为主，学生制作 PPT 讲义，归纳该阅读论文的框架、研究方法、论点等。在此基础上，发表者提出点评，并查阅其他资料来解答自己提出的疑问，进行课堂讨论。

此阶段的教学目标在于：

第一，通过论文阅读，使学生掌握更详细的专业知识，思考自己的论文选题方向。

第二，学习了解本专业论文的写作特点、格式规范以及常用的研究方法和研究手段。

在第 6 学期开始，每位学生有针对性地选择阅读与自己选题相关的前期研究，其目的在于，让学生学会查阅资料，并在大量的前期研究和资料中明确自己的选题方向，思考选题的依据、意义，构思论文写作的框架与创新点，准备在第 7 学期初提交开题报告。

在第 7 学期的写作课程中，学生按照各自毕业论文的进展程度，按绪论、章节、结论等内容制作 PPT 在课堂上发表，再由任课老师提出问题，组织讨论。发表者根据大家的建议或意见，进一步补充资料，完善论据与论点。在第 7 学期期末，学生基本上完成论文初稿的撰写。进入第 8 学期后，学生继续修改完善论文在语言、语法表述等方面的工作，完成终稿并提交，准备论文答辩。

毕业论文写作课程的授课模式完全以学生为中心，以尊重学生个性为原则，以开展课堂讨论的方式进行。导师的最大作用在于引导学生主动地动脑思考、提出问题，并指导学生如何找到答案，而不是直接地给出答案。要教给学生提出问题、找到答案、继续探索下一个问题，即追求真理的方法。课堂的中心“是一个问题的提出、理解及解决并产生新问题的过程，是一个知识作为问题解决的工具有被探索、被发现的过程”。毕业论文的教学需要学生有更强的主体意识与更高的主动性。要在学生之间、学生与



导师之间建立起互动的学习、交流机制，提高学生的学习积极性。写作过程需要学生不断地去完善论文，不断地追求更佳答案。其过程是学生不停地思考、探索、追求真理的过程。正是通过此过程的锻炼，来培养学生自主学习、独立思考的创造能力。

该课堂教学模式的意义可概括为：

- ① 改变传统的灌输式课堂教学模式，提高学生的口头表述能力和沟通能力；
- ② 有效地锻炼学生的自主学习能力，提高学习积极性，进一步促使学生掌握专业基础知识；
- ③ 培养学生提出新问题、解决他人之未解决问题的创新意识，使学生的创造性潜力得以发挥；
- ④ 培养学生分析和解决问题的能力，使学生树立起坚持真理、追求正义的求知欲和探索精神，积极面对生活和工作中的困难与挫折，提高学生在之后的工作中解决实际问题的能力；
- ⑤ 论文的选题、研究内容、研究方法、运用的资料等均由师生严格把关，有效地杜绝论文抄袭行为；
- ⑥ 优秀毕业论文可在期刊发表，提高教学质量、科研质量；
- ⑦ 教师在论文指导过程中也能开拓知识领域，提升思维能力，提高科研实力，有助于深化科研工作；
- ⑧ 增强学生之间以及学生与教师之间的情感和理解，促进毕业生对母校的凝聚力。

厦门大学校长朱崇实将创新型人才的特征定义为以下 5 点：

- ① 有很强的好奇心和求知欲望；
- ② 有很强的自我学习和探索能力；
- ③ 拥有广博而扎实的基础知识和专业知识，有较高的专业水平；
- ④ 具有良好的道德修养，能够与他人合作或共处；
- ⑤ 有健康的体魄、良好的心理素质和健全的人格。

由此可见，较长时期的小班讲授研讨型的论文写作课程，对于创新型人才的培养有着举足轻重的作用。

毕业论文的撰写过程是锻炼学生创新意识、创新精神和创造能力的重要环节，能帮助学生提高逻辑思维能力、推理能力、独立思考能力，能培养学生的自主性以及把所学专业转化为分析和解决问题的能力，以满足经济社会发展对新型高素质人才、应用型人才的需求。创新意识、创造性思维的生长需要宽松的环境。在毕业论文撰写过程中，为学生提供更有效的、培养创新意识的环境，保障学生充裕的思维空

间，推进毕业论文教学模式的变革，是当务之急的课题。运用更长的教学时间，展开小班研讨模式的课程，教师投入更多的精力和时间来指导学生的毕业论文，这正是高校创新、创业教育改革中教学内容改革的重中之重。

作者汤伊心摘自《试论日本文科毕业论文写作课程的意义》，原载《大学教育》2016年第10期

# 目 录

<b>第 1 章 卒業論文に関する知識</b> .....	1
1.1 卒業論文の定義.....	1
1.2 卒業論文を書く目的.....	1
1.3 卒業論文の性質.....	1
1.4 卒業論文の範囲.....	2
1.5 卒業論文とレポートの違い.....	4
1.6 卒業論文を書くために必要な条件.....	4
1.7 指導教師の役割.....	6
1.8 卒業論文作成の時間割.....	6
1.9 卒業論文テーマの方向付け.....	7
1.10 卒業論文を書く時の注意点.....	8
1.11 卒業論文の書式.....	8
1.12 「開題報告」の作成.....	9
実践演習.....	10
ヒント.....	10
クイズ.....	12
<b>第 2 章 卒業論文作成の心構え</b> .....	13
2.1 卒業論文を書く心構え.....	13
2.2 5W1H のフローチャート.....	14
2.3 論文内容の充実さ.....	14
2.4 資料と情報の評価.....	15
2.5 論文の内容を早く上手にまとめるコツ.....	15
2.6 楽に正しく書く論文術.....	16
2.7 パソコンを生かす.....	16
2.8 漢字を用いない表現.....	17
2.9 漢字を使う副詞.....	18
2.10 「こと」と「の」の使い分け.....	18
<b>第 3 章 論文作成の基本知識</b> .....	20
3.1 文章を書く基本.....	20
3.2 主な記号の働き.....	22
3.3 文体と表現.....	22

3.4	書き言葉と話し言葉	23
3.5	漢字とかなの使い分け	27
	クイズ	28
<b>第4章</b>	<b>論文の構成</b>	<b>32</b>
4.1	論文の「IMRD」型について	32
4.2	「IMRD」型の構成要素	32
4.3	序論・本論・結論型の構成	33
4.4	「IMRD」型の役割	33
	実践演習	35
4.5	論文の注について	36
	実践演習	39
4.6	参考文献のつけ方	39
	実践演習	42
4.7	見出しのつけ方	42
4.8	アウトラインの組み立て	43
	実践演習	44
	ヒント	44
4.9	論文における論文型	45
4.10	卒業論文作成の流れ	46
	クイズ	46
<b>第5章</b>	<b>文献・資料と情報の検索</b>	<b>48</b>
5.1	CNKI を生かす	48
5.2	日本の電子図書館の活用	52
5.3	ネットの百科事典	52
5.4	青空文庫の使用	53
5.5	参考文献の検索	55
5.6	論文に関わる資料の検索	55
5.7	日本語の研究と学習に関する URL	57
5.8	レジュメの書き方	61
	実践演習	63
<b>第6章</b>	<b>序論の書き方</b>	<b>64</b>
6.1	序論の本文	64
6.2	序論の構成と手順	65
6.3	序論を書く時によく使う表現	66
6.4	「はじめに」の添削例	71
6.5	序論のサンプル	72

クイズ .....	75
実践演習.....	76
ヒント .....	76
<b>第7章 本論の書き方.....</b>	<b>77</b>
7.1 本論の定義.....	77
7.2 本論の本文.....	78
7.3 本論の構成と手順.....	86
7.4 本論を書く時によく使う表現.....	86
クイズ .....	87
クイズ .....	90
7.5 本論ってどのようなものを書けばいいか.....	110
7.6 データ処理の大切さ .....	112
7.7 本論での考察の書き方.....	113
7.8 実証調査のサンプル.....	114
7.9 本論での出典の示し方.....	115
実践演習.....	116
ヒント .....	116
<b>第8章 結論の書き方.....</b>	<b>118</b>
8.1 結論の定義.....	118
8.2 結論の本文.....	119
8.3 結論の構成と手順.....	120
8.4 結論を書く時によく使う表現.....	120
クイズ .....	123
8.5 結論のサンプル.....	124
実践演習.....	126
ヒント .....	126
ルール .....	127
<b>第9章 要旨と謝辞の書き方.....</b>	<b>128</b>
9.1 要旨の定義.....	128
9.2 要旨の本文.....	128
9.3 「要旨」の添削例.....	130
9.4 要旨のサンプル.....	131
実践演習.....	133
9.5 謝辞の書き方.....	134
実践演習.....	136

第10章 論文の文章表現 .....	137
10.1 疑問表現 .....	137
10.2 指示表現 .....	138
10.3 比較・対照表現 .....	140
10.4 対比表現 .....	143
10.5 接続表現 .....	144
10.6 文末表現 .....	153
10.7 悪文を避ける .....	155
クイズ .....	157
第11章 卒業論文の口頭発表 .....	160
11.1 論文発表について .....	160
11.2 プレゼン資料の作成 .....	161
11.3 口頭発表の心構え .....	165
11.4 口頭発表のテクニック .....	167
実践演習 .....	171
ヒント .....	171
第12章 日本の大学生の卒業論文 .....	172
本書の主な参考文献 .....	216
付録A 依頼文の見本 .....	219
付録B 日本語学科の学生の卒業論文 .....	220
付録C 各章の設問解答 .....	253
付録D 論文講読と書き方の授業案 .....	258

# 第1章 卒業論文に関する知識

## 1.1 卒業論文の定義

卒業論文は日本語で「卒論」と呼ぶこともあります。卒業論文とは、学部生<sup>①</sup>が学士の学位を得るための「学士論文」のことを言います。「学士論文」は、大学在学中の最終成果とでも言えるぐらいのものであり、通常、最終学年に作成されます。一番大切なことは卒業論文を通じて物事を理論的に考え、一人で考える力を身につけることを通し、自分が成長していくことです。

## 1.2 卒業論文を書く目的

卒業論文を書く目的は、学生がすでに身につけた知識を運用する能力を高めることです。教師の指導のもとで、既知の知識を抛りどころに、ある学術的な問題を解決する能力を鍛え、将来、科学研究を行うための能力を初歩的に養成することにあります。

ある一つの疑問に思う問題を解決できれば、卒業論文としては合格です。そして、国家所定の「学士」の学位を授けられます。卒業論文を通じて学生が学んできた専門的知識を全体にマスターしたかどうかをはかることができます。また、専門課目の総括的な基礎能力の理解度を反映するものには卒業試験(口頭試験)があります。

卒業予定者であれば、誰でも卒業論文を書ける資格があるわけではありません。その理由は、「開題報告」がうまくできるかどうかにあります。

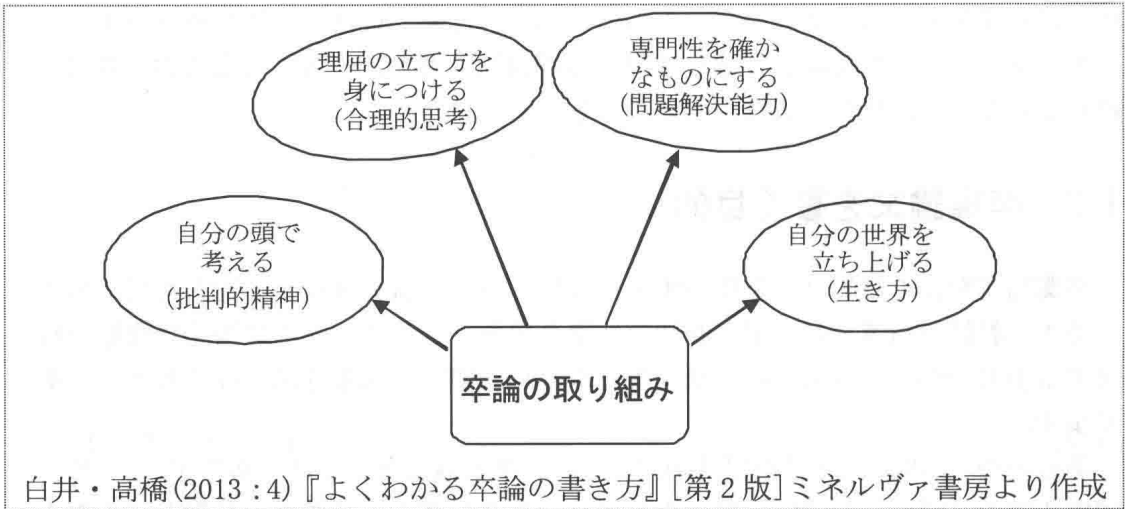
## 1.3 卒業論文の性質

論文というのは文字通り、一つの論説です。一般的に言えば、論文を書く目的は、人の気付いていないこと、よく分かっていないこと、間違っていることなどをよく「わかるようにする」ことなのです。分かりやすく言えば、理論的な文章、つまり一種の学問的な文章と言ってもよいものです。自分の意見・主張を述べたり、他人の意見・主張への反論をしたりするような論理的な文章のことを指します。

<sup>①</sup> 学部生は中国の場合は本科生の意味です。中国国内では四年制の大学で勉強している学生はすべて本科生と呼んでいます。

卒業論文は実際に専門知識を使ってみることにより、大学で学んだ専門知識を体系化し、問題解決の方法論として身につけるためのものです。そうすることで、社会に出るとき、専門性を発揮し、実際に責任を持った仕事ができるのです。

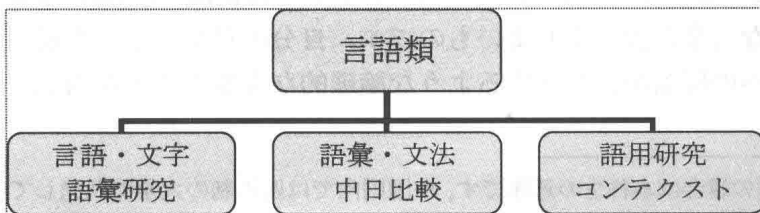
白井・高橋(2013:4)が述べたように、卒業論文は、自分の世界を立ち上げることです。すなわち、自分の知りたいことに対して、自分の頭で一生懸命に考えます。それにより、自分のものの見え方や考え方にも新しい何かを付け加えていきます。自分の生き方に対して、「自分とは何か」、「どう生きるのか」、「社会や時代とどう向き合っていたらよいか」といった問いに答えを見つけていくことでもあります。



また、卒業論文は一種の「研究論文」であり、ある事柄について一定の観察的な立場で深く考え、内容を整理することが大切です。そして、確実な根拠に基づき、客観的な立場に立ち、比較・対照・推論などといったいろいろな方法で厳密に論証し、研究を進め、新しい知識や意見・主張・思想など誰でも納得できるような結論を導き出すような文章でなければなりません。つまり、学生の総合的な思惟をまとめることです。

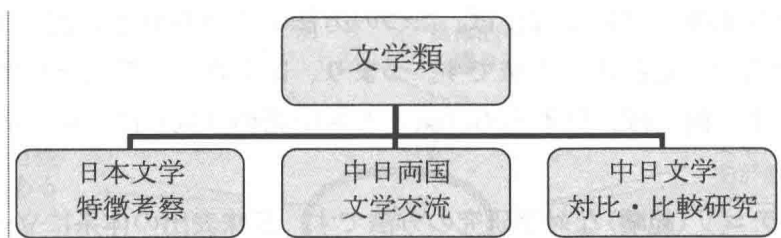
## 1.4 卒業論文の範囲

### 1.4.1 言語の分野と研究対象





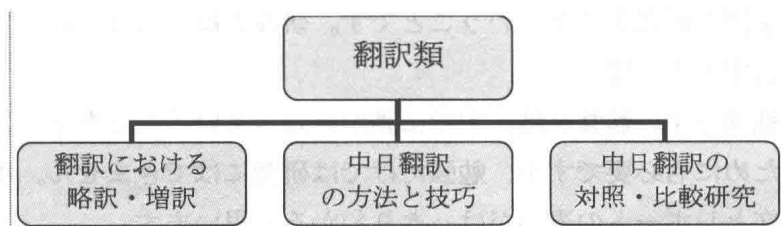
## 1.4.2 文学の分野と研究対象



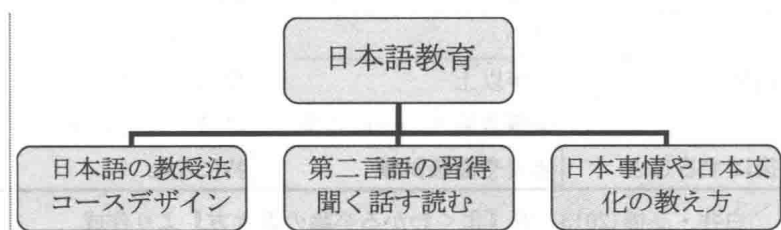
## 1.4.3 文化の分野と研究対象



## 1.4.4 翻訳の分野と研究対象



## 1.4.5 日本語教育の分野と研究対象



卒業論文の範囲(1.4.1)から(1.4.5)までは文系の卒業論文の研究範囲についてカテゴリーで5つ挙げられています。その中で(1.4.5)を除いて4つの分野には対照